

シマダティ

島根大学男女共同参画推進室



島根大学で「イクボス宣言」が行われました！

島根大学では、平成28年7月20日に服部学長、理事による「イクボス宣言」を行いました。

この宣言は、学長自らがイクボスとなることで学内の管理者にイクボスを増やし、男女ともに働きやすい職場環境をつくることを目指すものです。

宣言に先立ち、ワークライフバランスやイクボスを提唱・推進しているNPO法人ファザリング・ジャパンの川島高之理事に「リーダーシップとイクボス」について講演いただきました。

講演では、「イクボスやワークライフバランスを推進することで、優秀な人材が集まり、組織の成果が高まる」、「イクボスには、業務を見直し、無駄をなくすこと、部下の私生活（育児、介護、趣味など）をよく知ること、チームワークを高めること、自らワークライフバランスを満喫することなどが必要」との話がありました。



島根大学 イクボス宣言

私は、多くの教職員・学生を擁する島根大学のトップとして、大学構成員が仕事と私生活（家庭・余暇・地域活動その他）をともに充実して過ごせるよう積極的に支援するとともに、自らも率先してその両立を楽しむイクボスとなることを誓います。

(理解)

一. 大学構成員がそれぞれのライフ・デザインに則して私生活に時間を充てることについて、その重要性和必要性を十分に理解し、余暇や家族とのふれあい、育児や介護、また地域活動への頑張りを応援します。

(環境整備)

二. 仕事と私生活の両立・充実を目指して、それに必要な制度の確立や環境整備に取り組みます。また啓発活動にも力を入れ、構成員が互いのライフ・デザインを尊重し合える雰囲気づくりに努めます。

(イクボス養成)

三. 部下や学生を指導する立場にある構成員が、自らも《イクボス》であるという意識と誇りを持つるように教育します。

(仕事に対する態度)

四. 仕事の成果を短時間でしっかり出せるよう、創造的で効率的な働き方を実現します。

(業務改善)

五. 貴重な「人財」とその時間を大切にするため、会議時間の短縮や書類の削減、IT活用、意思決定手続の見直しなど、業務の改善に努めます。

(提言)

六. 働きやすい職場づくりに向けて、現場からの声、提言に真摯に耳を傾けます。また、構成員が《イクボス》の立場から、大学経営に対して積極的に提言することを推奨します。

(啓発)

七. 《イクボス》の輪を広げ、その拡がり島根大学に集うすべての人の明るい笑顔と、大学組織の業績向上へとつながることを実証します。また、その成果を、地域や社会に広めていくよう努力します。



第2回：服部泰直学長の「ワーク・ライフ・バランス」について伺いました

質問1：学長のワークについて教えてください。その研究分野に進まれたのはどうしてですか？

私は数学のトポロジーを専門にしています。トポロジーは「やさしい幾何学」とも言われ、たとえば平面図形では三角形も四角も丸もつながり方で言えば同じ、穴があれば違うというものです。確率論にも興味がありましたが、トポロジーの発想のよわらかさが、性格が細かくない

自分に合っていると思って卒業研究のテーマに決めました。今は「性格が細かい」と随分言われますが（笑）。

もともと高校の数学教員志望でしたが、大学院に進学してから研究を続けていきたいと思いました。数学の研究は苦しい時がほと

んどですが、新しい定理を発見、証明できた時は楽しいです。また、学生に教えることも大好きです。

今は学長として研究、教育から離れたのは残念ですが、トポロジーの発想では、形が変わってもこれも同じ教育ですので、大学のために頑張りたいと思っています。

質問2：イクボス宣言には「イクボスとは仕事と私生活をともに充実して過ごせるように積極的に支援すると共に、自らも率先しての両立を楽しむ」とありますが、学長の私生活はいかがですか？



嘉村先生の質問に 服部学長が答える

嘉村先生からの質問

我が家では、妻がいつも子どもと向き合っているので、一人で過ごす時間やリラックスが必要だなと感じています。「パートナーに休んでもらう方法」を教えてください。

服部学長の答え

子どもが小さいと大変だけど可愛いですね。自分は3人をお昼寝させる「お昼寝ごっこ」をやったことがありました。成功したのは1回だけで、2回目からはだめでしたね。他は土日に一緒に買い物に行っただけでしょうか。本当に妻には感謝しています。

嘉村先生の質問へのお返事を
読者のみなさまからも募集
しています！
男女共同参画推進室HPに
アクセスしてお返事下さい！



趣味のサッカーは中学生で始め、高校では県選抜で国体に出場しました。ポジションはボランチです。みんなを引っ張っていくというより、ワイワイ言って楽しむ方でした。大学卒業後、サッカーからは離れていましたが、37歳で再開しました。仕事の合間にボールを蹴ると気分転換になり、仕事もはかどります。リフレッシュは大事ですね。

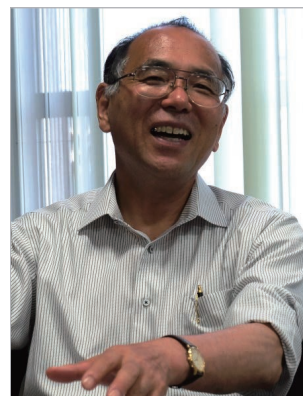


子どもは一男二女で、子育ては専業主婦の妻に任せっきりでした。子どもが大きくなってから共働きだった時もあり、朝の食器洗い、土日の昼食作りなどは、今も行っていきます。麻婆豆腐や焼き飯等簡単に作れるものですが。



質問3：島根大学の教職員に望むことは？

研究者には、とにかくいい成果を上げて欲しいです。特に女性は出産や育児、介護など家庭の変化によって研究を中断することがないように、大学として可能な支援はどんどんやっていきたいです。これは職員に対しても同じですね。これからは介護の問題が大きくなってくると思いますので、大学として考えていきたいと思っています。



編集後記

去年から温めていた「イクボス宣言」をついに発表することができました。育児、介護など誰もが経験する問題を解決する第一歩と位置づけています。どうかご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

学長特別補佐（男女共同参画担当）河野

島根大学男女共同参画推進室
〒690-8504
島根県松江市西川津町1060番地
Mail: kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp
HP: <http://gender.shimane-u.ac.jp>

「シマダディ」や「イクボス宣言」に対するご意見やアイデアをお寄せ下さい。また、嘉村先生の質問へのお返事もお待ちしております。みなさまからのご意見やアイデアを集約し、イクメン・イクボス アイデア集として誰でもアクセスできるようにしていきます。

シマダディ特設サイト: <http://gender.shimane-u.ac.jp/docs/index.php/doc3/newsletter>

